

KDDI ホスティングサービス（G120, G200）

XOOPS インストールガイド

（ご参考資料）

rev1.1

KDDI 株式会社

(目次)

1. XOOPS インストールガイド	3
1-1 はじめに.....	3
1-2 制限事項.....	3
1-3 サイト初期設定	4
2. XOOPS のインストール.....	9
3-1 はじめに.....	9
3-2 データベースの作成.....	9
3-3 XOOPS のインストール	10

1. XOOPS インストールガイド

1-1 はじめに

KDDI ホスティングサービスの G120, G200 では、XOOPS のインストールが可能です。ここではその手動インストール方法をご説明いたします。

1-2 制限事項

- ・ 本サービスでは、XOOPS の機能や操作方法のサポートは行なっておりません。書籍またはインターネットをご参考にしてください。
- ・ 本書は、DNS サーバおよびレコードが設定されていることを前提としております。DNS 切替前のお客さまはセットアップできないことがございますが、その際は、クライアント PC の hosts ファイルを KDDI ホスティングサービスの IP アドレスに設定してください。(hosts ファイルの操作については、サポートしておりませんので、Microsoft のサイトもしくは書籍等をご参考にしてください。ホスティングサービスの IP アドレスの確認方法は、「セットアップガイド」をご参考にしてください)

1-3 サイト初期設定

XOOPSをご利用になるには、事前にウェブサーバを起動しておく必要があります。ウェブサーバの起動については、コントロールパネルより「ウェブホスティングの追加」を行ないます。

- (1) コントロールパネルにログインし、[ドメイン名] > [ドメイン名の管理] を選択します。表示されているドメインリストの中で、XOOPS をインストールするドメインの「ウェブホスティング」を追加します。

※ 既にウェブホスティングを設定済みの場合は必要ありません。

契約ID: [masked]
ウェブスペース [masked]

メニュー
ドメイン名
ドメイン管理
ウェブサイト
eメール
ユーザー
統計と分析

サーバー管理 > メニュー > ドメイン名
ドメイン管理

検索: ID: [] ドメイン名: [] ウェブホスティング: [] メールホスティング: [] 同期: []
RESET

新しいサブドメイン名の追加

合計1 アイテム 1ページあたりの表示数: 25 50 100

ID	ドメイン名	ウェブホスティング	メールホスティング	同期	有効
31699	[masked].com			はい	はい

合計1 アイテム 1ページあたりの表示数: 25 50 100

- (2) (1)にて、[ドメイン名]をクリックして、ウェブホスティングの追加を行ないます。

契約ID: [masked]
ウェブスペース [masked]

メニュー
ドメイン名
ドメイン管理
ウェブサイト
eメール
ユーザー
統計と分析

サーバー管理 > メニュー > ドメイン名 > ドメイン管理
example.com

概要 DNS管理

全般

ID: [masked]
名前: [masked].com
同期: はい
ゾーン管理機能: 有効

編集

DNSの設定

DNSホスティングステータス: 準備完了
DNS管理: 有効

詳細の表示

ウェブホスティング

ウェブホスティングタイプ: なし

ホスティングの追加

メールホスティング

メールホスティングタイプ: なし

ホスティングの追加

- (3) ホスティングに「ウェブサイト(Microsoft IIS)」が表示されていることを確認し [次へ] をクリックします。

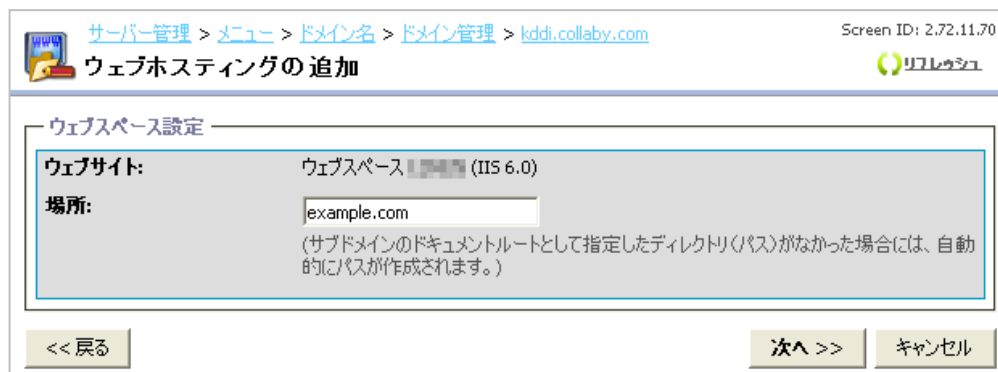
サーバー管理 > メニュー > ドメイン名 > ドメイン管理 > kddi.collaby.com
ウェブホスティングの追加

ウェブホスティング

ホスティング: [ウェブサイト (Microsoft IIS)]

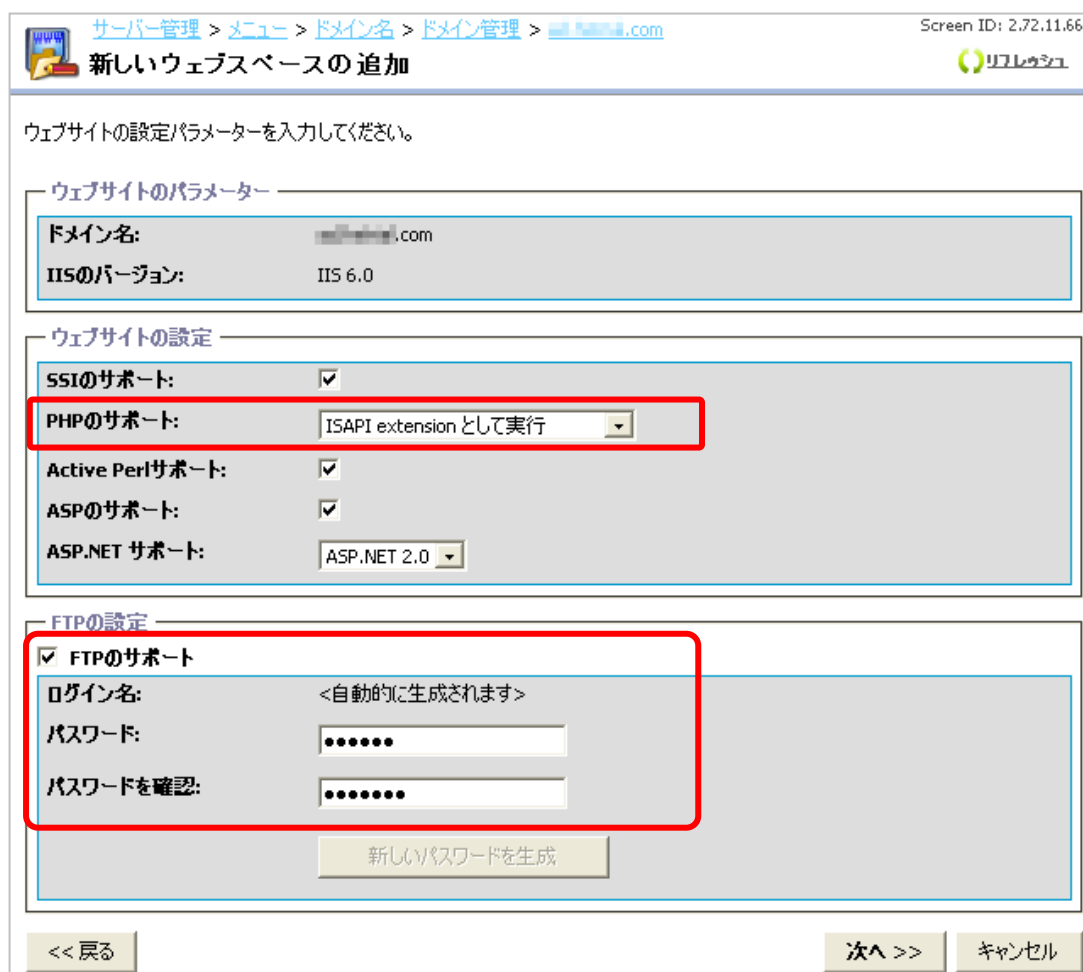
次へ >> キャンセル

- (4) ドキュメントルートへのパスを指定し「次へ」をクリックします。
(ドメイン・サブドメインを追加する場合は、任意のディレクトリ名を入力します。デフォルトではドメイン名のディレクトリが wwwroot の下に作成されます。通常はデフォルトのままです。)

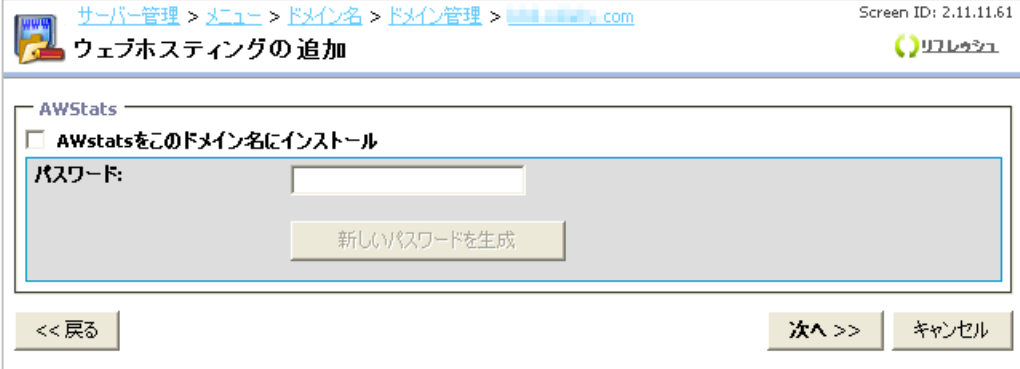


- (5) ウェブサイトの詳細設定を行ないます。PHP や Perl、ASP のご利用有無と FTP のパスワードを設定してください。(※一度作成した後でも再度設定変更が可能です)

「PHP のサポート」の設定を「ISAPI extension として実行」にします。



- (6) アクセス解析 AWStats を利用する場合は「AWstats をこのドメイン名にインストール」のチェックボックスにチェックを入れ、パスワードを設定します(利用されない場合はチェックを入れなくても構いません)。
[次へ] をクリックします。



サーバー管理 > メニュー > ドメイン名 > ドメイン管理 > [domain].com Screen ID: 2.11.11.61 リフレッシュ

ウェブホスティングの追加

AWStats

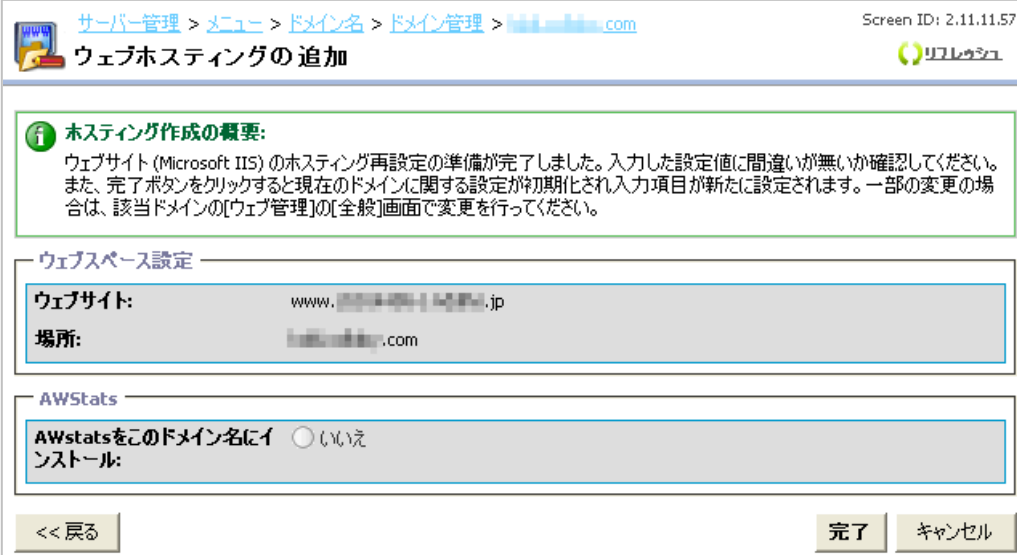
☐ AWstatsをこのドメイン名にインストール

パスワード: [text input]

新しいパスワードを生成

<< 戻る 次へ >> キャンセル

- (7) 確認画面が表示されます。設定した内容を確認し、[完了]をクリックします。



サーバー管理 > メニュー > ドメイン名 > ドメイン管理 > [domain].com Screen ID: 2.11.11.57 リフレッシュ

ウェブホスティングの追加

ホスティング作成の概要:
ウェブサイト (Microsoft IIS) のホスティング再設定の準備が完了しました。入力した設定値に間違いが無いが確認してください。
また、完了ボタンをクリックすると現在のドメインに関する設定が初期化され入力項目が新たに設定されます。一部の変更の場合は、該当ドメインの[ウェブ管理]の[全般]画面で変更を行ってください。

ウェブスペース設定

ウェブサイト: www.[domain].jp

場所: [domain].com

AWStats

AWstatsをこのドメイン名にインストール: ☐ はい ☒ いいえ

<< 戻る 完了 キャンセル

(ステータスは自動では変わりません。右上の「リフレッシュ」をクリックするとステータスが更新されます。)

☒ はい

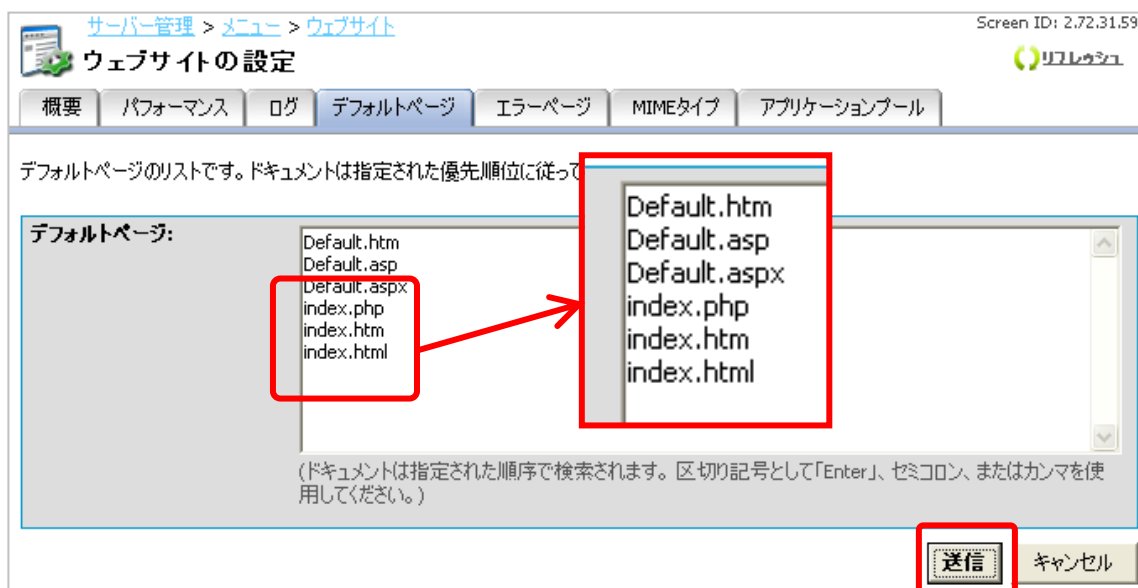
同期ステータスが「はい」(緑色) になるまで、約 1 分～10 分程度かかります。

(9) デフォルトページの優先順位を確認・設定します。

左メニューより、[ウェブサイト]>[ウェブサイトの設定]を選択し、タブより[デフォルトページ]をクリックします。



(9) 「index.php」ファイルの優先順位を「index.html」よりも高くします。(「優先順位」の値が小さいほど、優先度は高く設定されています) [編集] ボタンをクリックすると、優先順位を設定できます。



2. XOOPS のインストール

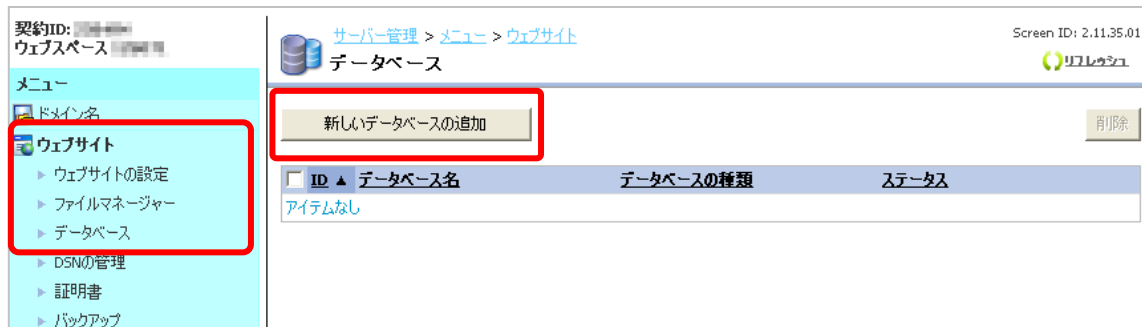
3-1 はじめに

ウェブサーバの初期設定「1-3 サイトの初期設定」が実施されていることを前提に以下手順を記します。

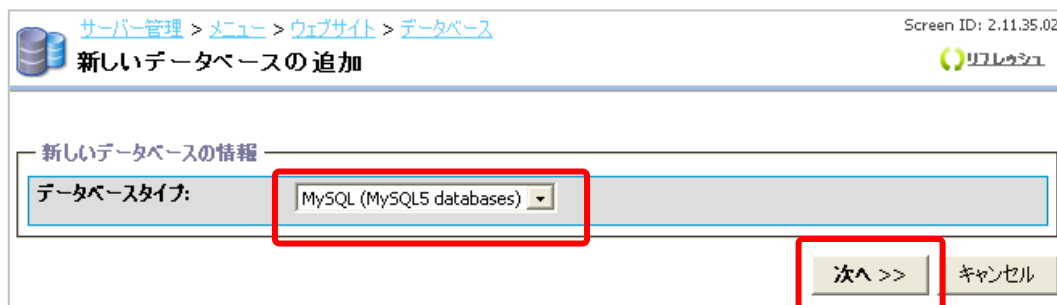
3-2 データベースの作成

XOOPS で利用するデータベースを作成しておきます。

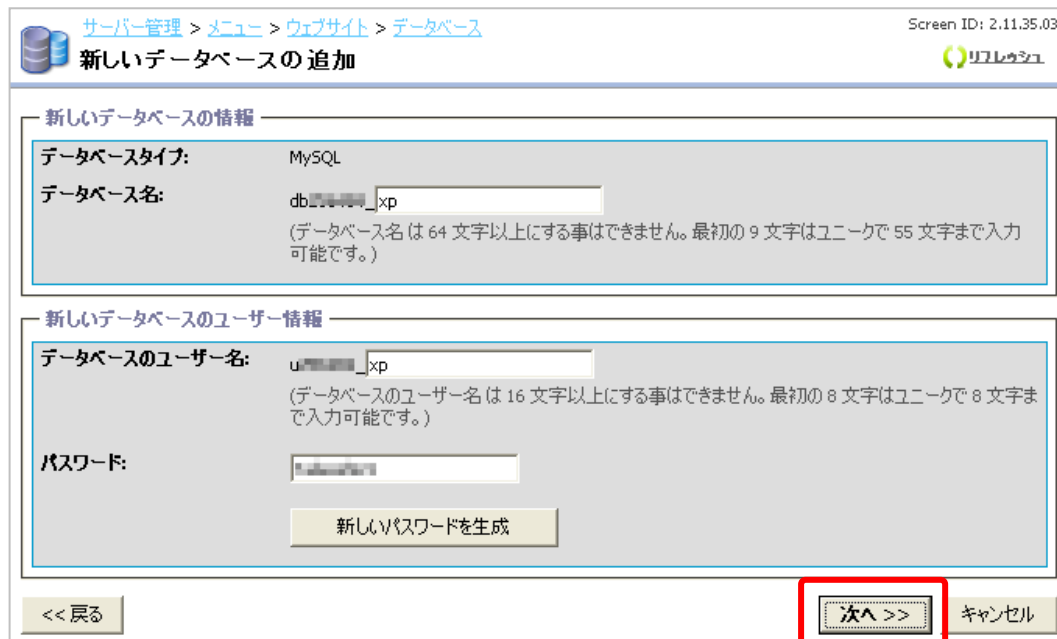
(1) メニューより、[ウェブサイト]>[データベース]を選択し、[新しいデータベースの追加]をクリックします。



(2) データベースタイプに「MySQL (MySQL5 databases)」を選択して、[次へ]をクリックします。



(3) データベースの情報および、ユーザ情報を設定し、[次へ]をクリックします。



- (4) 設定情報を確認し、よろしければ[確認]をクリックします。

サーバー管理 > メニュー > ウェブサイト > データベース
新しいデータベースの追加

Screen ID: 0.00.00.00

概要:
新しいデータベースの作成準備ができました。下記のデータが正しいことを確認してください

新しいデータベースの情報

データベースタイプ: MySQL
データベース名: db[]_xp
ディスク容量リソース: Diskspace [MySQL5]

新しいデータベースのユーザー情報

データベースのユーザー名: []_xp
パスワード: *****

<< 戻る **完了** キャンセル

- (5) ステータスが「作成中」から「準備完了」になればデータベースの作成が完了です。
(画面の更新は自動では行われません。[リフレッシュ]ボタンで更新されます。更新には数分かかります)

ID	データベース名 ▼	データベースの種類	ステータス
17175	db[]_xp	MySQL	● 準備完了

3-3 XOOPS のインストール

※本マニュアルは、http://www.お客さまドメイン名/xp/ の URL でインストールした場合の手順をご紹介します。

- (1) インストール先ディレクトリを作成します。
コントロールパネルのメニューより、「ウェブサイト」>「ファイルマネージャーを開く」をクリックして、ファイルマネージャーを表示させます。(ファイルマネージャーの初期設定が完了していない場合は、設定します。)

契約ID: []
ウェブスペース []

メニュー
ドメイン名
ウェブサイト
▶ ウェブサイトの設定
▶ ファイルマネージャー
▶ データベース
▶ DSNの管理
▶ 証明書
▶ バックアップ
eメール
ユーザー
統計と分析

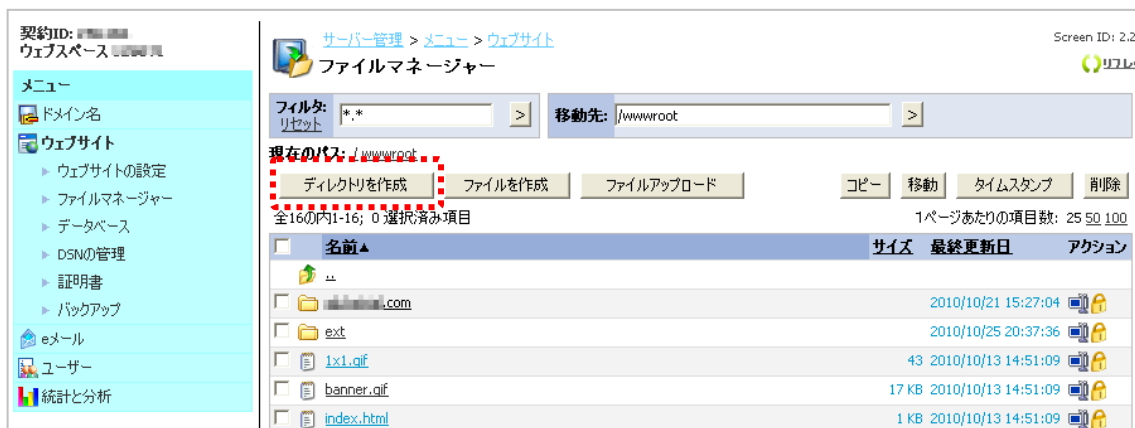
サーバー管理 > メニュー > ウェブサイト
ファイルマネージャー

Screen ID: 2.21.05.

ファイルマネージャー

ファイルとフォルダの管理: ファイルマネージャーを開く []
ステータス: ● 準備完了

- (2) 「wwwroot」をクリックし、XOOPS をインストールするドメインのディレクトリを選択(無い場合は「ディレクトリを作成」)します。




「ディレクトリを作成」する場合、下記のように名称を入力できます。本マニュアルでは、「example.com」をサンプルに説明いたします。

ディレクトリの作成

ディレクトリ名を入力

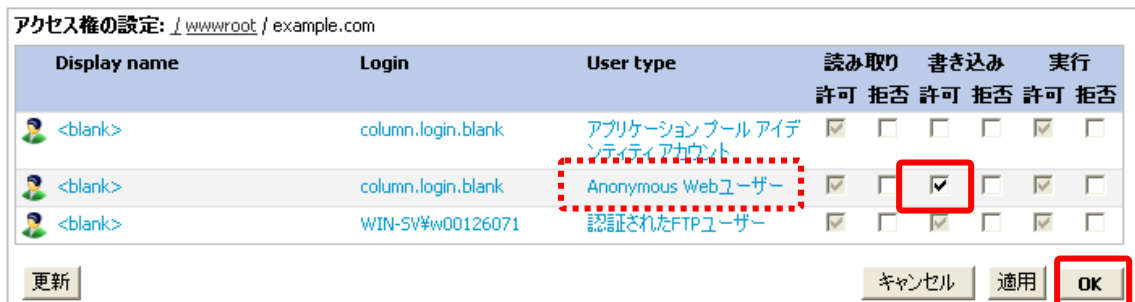
名前の文字数は 151 文字を超えられません

- (3) インストール先ディレクトリのアクセス権の変更を行います。

上記で作成した [example.com] のディレクトリに対し [Anonymous Web ユーザー] の書き込み権限を付与します。作成したディレクトリ右側の錠マークをクリックします

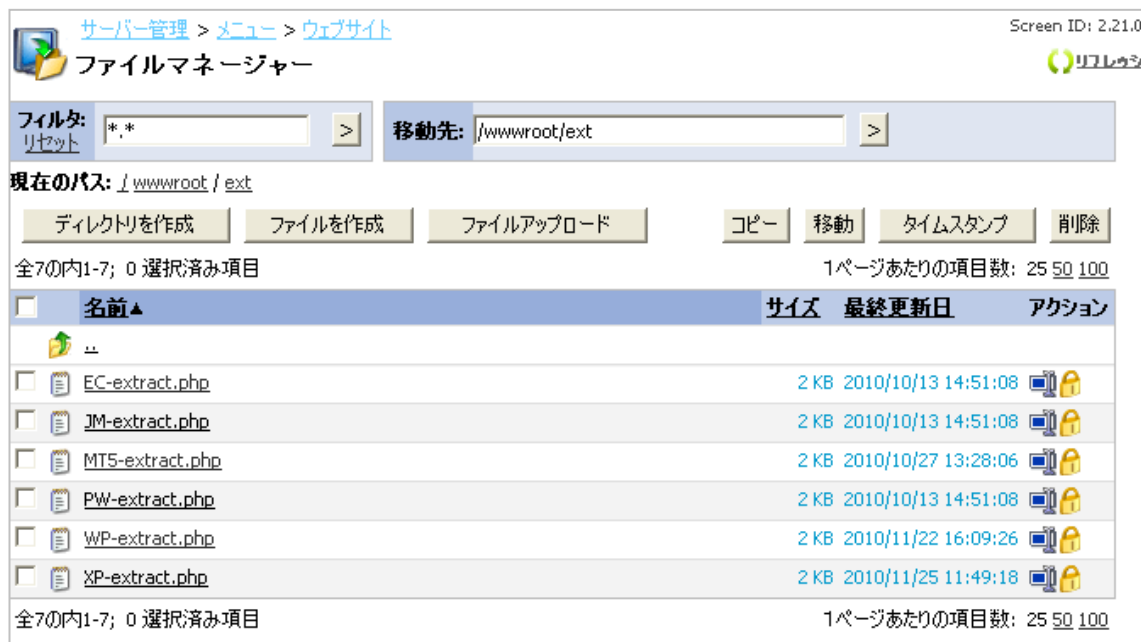


- (4) [Anonymous Web ユーザー]の書き込み権限にて、[許可]にチェックを入れて、[OK]をクリックします。



- (5) インストール用ファイルの編集を行いません。

コントロールパネルにて、[ウェブサイト] [ファイルマネージャー] より、[ファイルマネージャーを開く]をクリックし、
wwwroot > ext の順番でフォルダを選択いたしますと、[**extract.php]という形式のファイルをご確認いただけます。XOOPS をインストールするには、[XP-extract.php]のファイルをご選択ください。



ファイルマネージャにて[XP-extract.php]のファイルが無い場合は[こちら](#)

(<http://media3.kddi.com/extlib/files/pub/hosting-g/application/zip/XP-extract.zip>)よりダウンロードできます。

ダウンロードした圧縮ファイルを解凍し、テキストエディタで開きます。

(テキストエディタが無い場合は、メモ帳へドラッグ & ドロップすると開くことができます)

5 行名の解凍先ディレクトリをお客さま環境に合わせて修正します (**赤文字・太字部分**)。

お客さま環境の確認方法は、(6)にて確認できます。

```

////////CONFIG////////
define('ARCHIVE_URL',
'http://apps.kddihs.jp/xoops/XOOPS_cube_Legacy_2_1_4.ziphttp://apps.kddihs.jp/XOOPS/X
OOPS.zip');
define('PATH_TO_EXTRACT',
'D:¥CustomerData¥webspaces¥webpace_*****¥wwwroot¥解凍先ディレクトリ');
////////CONFIG////////

```

- (6) 解凍先ディレクトリ(サーバーパス)は以下の流れで確認します。

[ウェブサイト]より、[ウェブサイトの設定]にて [PHP のサポート:]を選択し、[PHP のサポート:]をクリックし、
_SERVER ["APPL_PHYSICAL_PATH"]をご確認いただけます。

契約ID: [非表示] ウェブスペース [非表示]

メニュー

- ドメイン名
- ウェブサイト
 - ウェブサイトの設定
 - ファイルマネージャー
 - データベース
 - DSNの管理
 - 証明書
 - バックアップ
- eメール
- ユーザー
- 統計と分析

サーバー管理 > メニュー > ウェブサイト

ウェブサイトの設定

概要 パフォーマンス ログ デフォルトページ エラーページ MIMEタイプ アプリケーションプール

基本設定

名前: d[非表示].jp

状態: 開始

SSIのサポート: オン テスト

PHPのサポート: オン **テスト**
(ISAPI extensionとして実行中)

Active Perlサポート: オン テスト

ASPのサポート: オン テスト

ASP.NET サポート: オン テスト
(ASP.NET 2.0 が有効になりました)

_SERVER ["APPL_PHYSICAL_PATH"] D:\CustomerData\webspaces\webpace_00101241\wwwroot\

このパス情報を(8)にて設定いたします。(パス情報はお客さまによって上記とは異なります)

- (7) 解凍先ディレクトリの編集を行います。

以下のキャプチャは、example.com というドメイン名の場合に、

D:¥CustomerData¥webspaces¥webpace_***¥wwwroot¥example.com¥xp**

にインストールする場合は、

D:¥CustomerData¥webspaces¥webpace_***¥wwwroot¥example.com**と

入力します

```

1 <?php
2 ↓
3 //CONFIG//
4 define('ARCHIVE_URL', 'http://apps.kddihs.jp/wordpress/wordpress.zip');
5 define('PATH_TO_EXTRACT', 'D:¥CustomerData¥webspaces¥webpace_*****¥wwwroot¥解凍先ディレクトリ');
6 //CONFIG//
7 ↓
8 $pattern = '|.+/(.+)$|';
9 preg_match($pattern, ARCHIVE_URL, $matches);
10 define('FILE_NAME', $
11 ↓

```

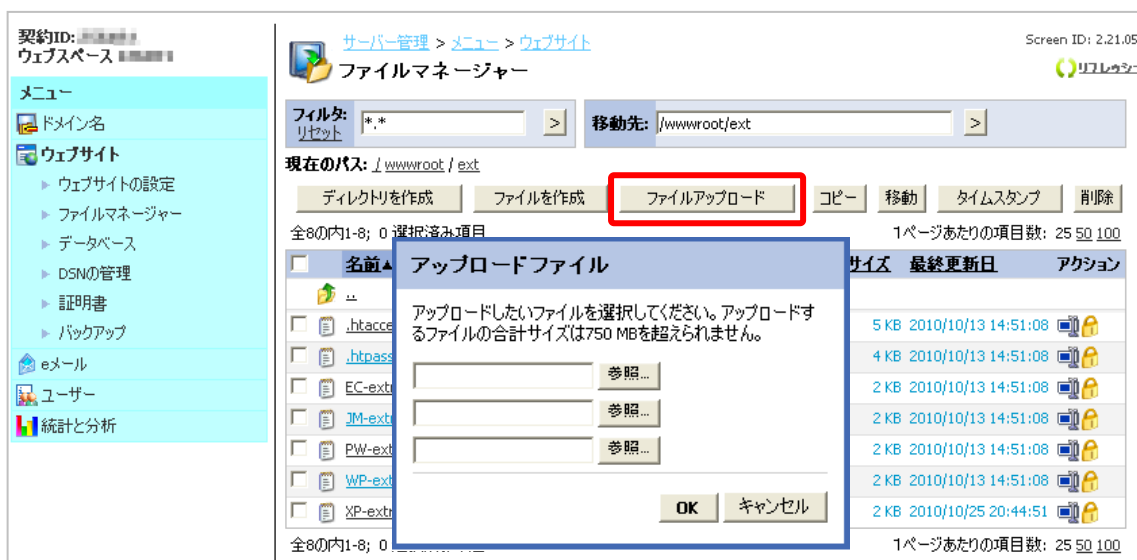
記述例)

D:¥CustomerData¥webspaces¥webpace_00101241¥wwwroot¥example.com

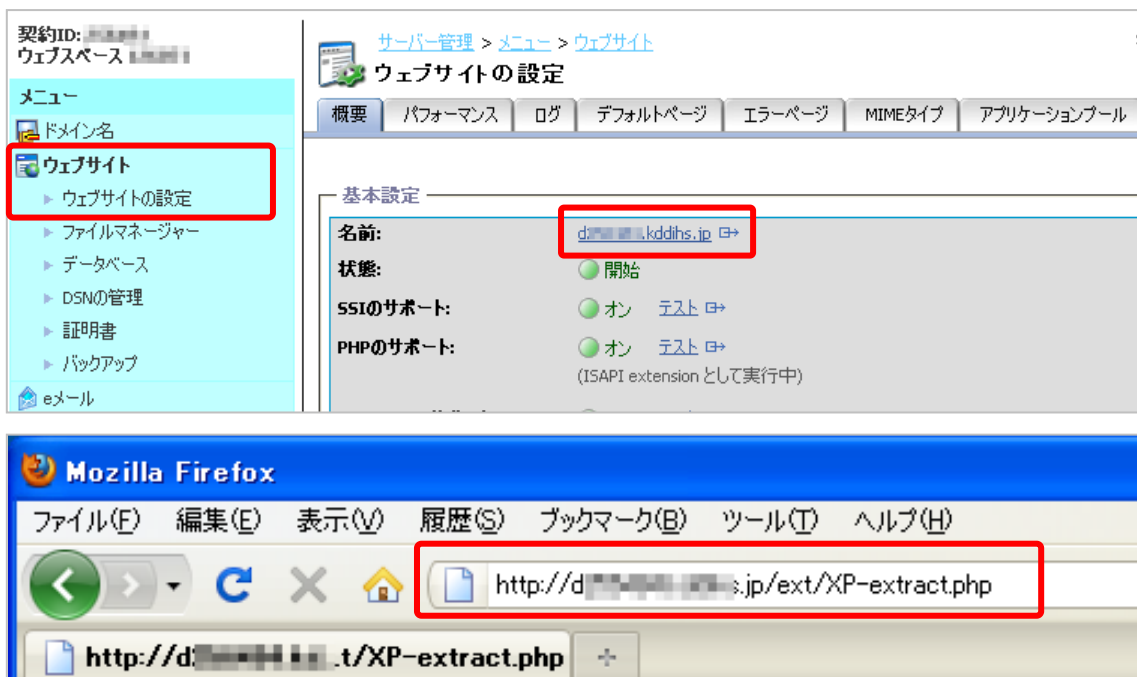
編集したファイルを上書き保存します。(ファイル名: XP-extract.php)

- (8) 編集したファイルを「ファイルマネージャー」でアップロードします。

アップロードするファイル	XP-extract.php
アップロード先のディレクトリ	¥wwwroot¥ext



- (9) アップロード完了後、[XP-extract.php]を実行します。メニューより[ウェブサイト]>[ウェブサイトの設定]を選択し、[名前]のリンクをクリックします。新しいブラウザが表示された後、
http://d*****.kddihs.jp/ext/XP-extract.php
とアドレスを修正して、アクセスします。



インストールの準備のためのスクリプトが実行されます。
「Start」から「Done」まで大量の結果が出力されます。(数千行)

```
Start
get http://www.example.jp/xoops/XOOPS_cube_Legacy_2_1_4.zip
file -> D:\CustomerData\webspaces\workspace_00000001\wwwroot\www.example.jp\XOOPS_cube_Legacy_2_1_4.zip
extract dir -> D:\CustomerData\webspaces\workspace_00000001\wwwroot\www.example.jp\Package_Legacy/docs/CHANGES.txt
...
D:\CustomerData\webspaces\workspace_00000001\wwwroot\www.example.jp\Package_Legacy/html/viewpmsg.php
D:\CustomerData\webspaces\workspace_00000001\wwwroot\www.example.jp\Package_Legacy/html/xoops.css
Done...
```

※ご参考

「Start」から「Done」まで 4 行程度（数行）しか出力されていない場合は、正しく動作していません。

インストールしようとしているディレクトリ（ここでは example.com）に「Anonymous Web ユーザー」の書き込みアクセス権限が付与されているかどうか？（2-4（4））をご確認ください。

アクセス権の設定: /wwwroot/www.example.jp

Display name	Login	User type	読み取り 許可 拒否	書き込み 許可 拒否	実行 許可 拒否
<blank>	column.login.blank	アプリケーション プール アイデンティティ アカウント	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
<blank>	column.login.blank	Anonymous Web ユーザー	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
<blank>	WIN-SV#w00126071	認証された FTP ユーザー	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

(11) 展開されたディレクトリの名前を変更します。メニューの[ウェブサイト]>[ファイルマネージャー]を選択し、wwwroot > example.com の順番でフォルダを選択いたしますと、[Package_Legacy]というディレクトリが表示されます。[Package_Legacy]右側の[ディレクトリ名の変更]ボタンを選択しディレクトリ名を変更します。本マニュアルでは、http://www.example.com/xp/としてインストールするため、xp と入力します。

サーバー管理 > メニュー > ウェブサイト
ファイルマネージャー





Screen ID: 2.21

フィルタ: *.* 移動先: /wwwroot/example.com

現在のパス: /wwwroot/example.com

ディレクトリを作成 ファイルを作成 ファイルアップロード コピー 移動 タイムスタンプ 削除

全16の内1-16; 0 選択済み項目 1ページあたりの項目数: 25 50 100

名前▲	サイズ	最終更新日	アクション
..			
Package_Legacy		2010/11/25 13:13:15	
1x1.gif	43	2010/11/25 11:35:14	
banner.gif	17 KB	2010/11/25 11:35:14	
index.html		2010/11/25 11:35:14	

名前の変更

新しい名前を入力

xp

名前の文字数は 133 文字を超えられません

OK キャンセル

(12) XOOPS へアクセスいたします。

ブラウザで「[http://www.example.com\(お客様のドメイン名\)/xp/html](http://www.example.com(お客様のドメイン名)/xp/html)」へアクセスし、インストールウィザードに従ってインストールします。下記画面で、「次へ」をクリックします。



The screenshot shows the first step of the XOOPS Cube 2.1 installation wizard. The header includes the XOOPS Cube logo and the title 'Installation'. A navigation bar at the top right says '画面上の指示に従って設定を行ってください' and 'イントロダクション >> 次へ'. The main content area is titled 'XOOPS Cube 2.1 インストールウィザードへようこそ' and prompts the user to 'インストール作業に使用する言語を選択してください'. A dropdown menu shows 'japanese' selected. On the left, there is a cartoon character and the text 'Let's Start !!'. At the bottom right, there is a button labeled '次へ'.

(13) 「次へ」をクリックします。



The screenshot shows the second step of the XOOPS Cube 2.1 installation wizard. The header and navigation bar are identical to the previous screen. The main content area is titled 'XOOPS Cube 2.1 インストールウィザードへようこそ' and contains an introduction to XOOPS Cube Legacy, its features, and the GNU GPL license. It also lists the '必要なソフトウェア' (Required Software) and '準備' (Preparation) steps. On the left, the cartoon character and 'Let's Start !!' text are present. At the bottom right, there is a button labeled '次へ'.

はじめに

XOOPS Cube Legacyは、オブジェクト指向ベースで作成された、PHPによるオープンソースのポータルサイト作成ソフトです。XOOPS Cube Legacyは様々なデータベースサーバで動作します。規模の大小を問わず、ダイナミックなコミュニティーサイトや、イントラネット用のポータルサイト、企業のポータルサイト、ウェブログ、そういったものの作成に最適です。

XOOPS Cube Legacyは、[GNU 一般公衆利用許諾契約書 \(GPL\)](#)(参考:[日本語訳](#))というライセンスでリリースされており、自由に使用し、また改変できます。再配布もGPLの条項にのっとって行えば、自由に行うことができます。

必要なソフトウェア

- ウェブサーバ([Apache](#), IIS, Roxen, など)
- [PHP](#) 4.3.2以降
- データベースサーバ([MySQL Database 3.23.XX](#))

準備

- ウェブサーバ、PHP、データベースサーバを適切にセットアップする。
- XOOPS Cube Legacy用にデータベースを1つ準備する。
- 上記のデータベースにアクセスできる、データベースサーバのユーザアカウントを準備する。
- uploads/, cache/およびtemplates_c/ディレクトリと、mainfile.phpファイルをPHPから書込み可能にする。
- ブラウザのクッキーとJavaScriptをオンにする。

インストール

このウィザードに従ってください。

(14) 「次へ」をクリックします。

 **XOOPS Cube** **Installation**

画面上の指示に従って設定を行ってください

設定の入力 >>

Let's Start !!


ファイルのアクセス権のチェック

- ディレクトリuploads/は、書込可です。
- ディレクトリcache/は、書込可です。
- ディレクトリtemplates_c/は、書込可です。
- ファイルmainfile.phpは、書込可です。

アクセス権に問題はありません。

設定の入力 >>

(15) データベースの設定を行ないます。データベース情報は、3-2 で作成したデータベースの情報を記載します。(コントロールパネルよりご確認できます。)

XOOPS 上の設定項目	コントロールパネル該当箇所
データベースサーバのホスト名	[全般]タブ内の「内部ネットワーク用ホスト名」
データベースユーザ名	[ユーザー]タブ内の「ユーザー名」
データベースパスワード	[ユーザー]タブ内の「パスワード」 (編集ボタンをクリックすることで確認可能)
データベース名	[全般]タブ内の「データベース名」

(16) 設定情報を確認し、よろしければ「次へ」をクリックします。


XOOPS Cube Installation

画面上の指示に従って設定を行ってください

戻る

<< 設定の再入力

設定の保存 >>

次へ

Let's Start !!



設定内容の確認

データベースサーバ	mysql
データベースサーバのホスト名	mysql[redacted].jp
データベースユーザ名	u[redacted]_xp
データベースパスワード	[redacted]
データベース名	db[redacted]_xp
テーブル接頭語	a88a2c
SALT	4cbe87fa
データベースへ持続的接続	いいえ
XOOPS Cubeへのパス	D:/CustomerData/webspaces/ /wwwroot/[redacted].com/xp/html
XOOPS CubeへのURL	http://[redacted].com/xp/html

戻る

<< 設定の再入力

設定の保存 >>

次へ

(16) 「次へ」をクリックします。


XOOPS Cube Installation

画面上の指示に従って設定を行ってください

パス・URLのチェック >>

次へ

Let's Start !!



設定の保存

■ ファイル../mainfile.phpがファイル../mainfile.dist.phpで上書きされました。
 ■ 定数XOOPS_ROOT_PATHがD:/CustomerData/webspaces/[redacted].com/wwwroot/[redacted].com/xp/htmlに設定されました。
 ■ 定数XOOPS_URLがhttp://[redacted].com/xp/htmlに設定されました。
 ■ 定数XOOPS_DB_TYPEがmysqlに設定されました。
 ■ 定数XOOPS_DB_PREFIXがa88a2cに設定されました。
 ■ 定数XOOPS_SALTが4cbe87faに設定されました。
 ■ 定数XOOPS_DB_HOSTがmysql[redacted].jpに設定されました。
 ■ 定数XOOPS_DB_USERがu[redacted]_xpに設定されました。
 ■ 定数XOOPS_DB_PASSが[redacted]に設定されました。
 ■ 定数XOOPS_DB_NAMEがdb[redacted]_xpに設定されました。
 ■ 定数XOOPS_DB_PCONNECTが0に設定されました。
 ■ 定数XOOPS_GROUP_ADMINが1に設定されました。
 ■ 定数XOOPS_GROUP_USERSが2に設定されました。
 ■ 定数XOOPS_GROUP_ANONYMOUSが3に設定されました。

設定を、mainfile.phpへ書き込みました。

パス・URLのチェック >>

次へ

(17) 設定情報を確認し、「次へ」をクリックします。


XOOPS Cube Installation

画面上の指示に従って設定を行ってください

パス・URLのチェック >>

Let's Start !!



設定の保存

- ファイル../mainfile.phpがファイル../mainfile.dist.phpで上書きされました。
- 定数XOOPS_ROOT_PATHがD:/CustomerData/webspaces/...に設定されました。
- 定数XOOPS_URLがhttp://...に設定されました。
- 定数XOOPS_DB_TYPEがmysqlに設定されました。
- 定数XOOPS_DB_PREFIXがa88a2dに設定されました。
- 定数XOOPS_DB_HOSTがmysql...に設定されました。
- 定数XOOPS_DB_USERがu...に設定されました。
- 定数XOOPS_DB_PASSが...に設定されました。
- 定数XOOPS_DB_NAMEがdb...に設定されました。
- 定数XOOPS_DB_PCONNECTが0に設定されました。
- 定数XOOPS_GROUP_ADMINが1に設定されました。
- 定数XOOPS_GROUP_USERSが2に設定されました。
- 定数XOOPS_GROUP_ANONYMOUSが3に設定されました。

設定を、mainfile.phpへ書き込みました。

パス・URLのチェック >>

(18) 設定情報を確認し、「次へ」をクリックします。


XOOPS Cube Installation

画面上の指示に従って設定を行ってください

パス・URLのチェック >>

Let's Start !!



設定の保存

- ファイル../mainfile.phpがファイル../mainfile.dist.phpで上書きされました。
- 定数XOOPS_ROOT_PATHがD:/CustomerData/webspaces/...に設定されました。
- 定数XOOPS_URLがhttp://...に設定されました。
- 定数XOOPS_DB_TYPEがmysqlに設定されました。
- 定数XOOPS_DB_PREFIXがa88a2dに設定されました。
- 定数XOOPS_DB_HOSTがmysql...に設定されました。
- 定数XOOPS_DB_USERがu...に設定されました。
- 定数XOOPS_DB_PASSが...に設定されました。
- 定数XOOPS_DB_NAMEがdb...に設定されました。
- 定数XOOPS_DB_PCONNECTが0に設定されました。
- 定数XOOPS_GROUP_ADMINが1に設定されました。
- 定数XOOPS_GROUP_USERSが2に設定されました。
- 定数XOOPS_GROUP_ANONYMOUSが3に設定されました。

設定を、mainfile.phpへ書き込みました。

パス・URLのチェック >>

(19) 設定情報が保存されます。「次へ」をクリックします。

**XOOPS Cube Installation**

画面上の指示に従って設定を行ってください

パス・URLのチェック >>

Let's Start !!


設定の保存

- ファイル../mainfile.phpがファイル../mainfile.dist.phpで上書きされました。
- 定数XOOPS_ROOT_PATHがD:/CustomerData/webspaces/...に設定されました。
- 定数XOOPS_URLがhttp://...に設定されました。
- 定数XOOPS_DB_TYPEがmysqlに設定されました。
- 定数XOOPS_DB_PREFIXがa88a2dに設定されました。
- 定数XOOPS_SALTが4cbe87falに設定されました。
- 定数XOOPS_DB_HOSTがmysql...に設定されました。
- 定数XOOPS_DB_USERがu...に設定されました。
- 定数XOOPS_DB_PASSが...に設定されました。
- 定数XOOPS_DB_NAMEがdb...に設定されました。
- 定数XOOPS_DB_PCONNECTが0に設定されました。
- 定数XOOPS_GROUP_ADMINが1に設定されました。
- 定数XOOPS_GROUP_USERSが2に設定されました。
- 定数XOOPS_GROUP_ANONYMOUSが3に設定されました。

設定を、mainfile.phpへ書き込みました。

パス・URLのチェック >>

(20) データベーステーブルが作成されます。「次へ」をクリックします。

**XOOPS Cube Installation**

画面上の指示に従って設定を行ってください

サイト管理者についての設定 >>

Let's Start !!



データベーステーブル作成

- a88a2c_avatarテーブルを作成しました。
- a88a2c_avatar_user_linkテーブルを作成しました。
- a88a2c_bannerテーブルを作成しました。
- a88a2c_bannerclientテーブルを作成しました。
- a88a2c_bannerfinishテーブルを作成しました。
- a88a2c_block_module_linkテーブルを作成しました。
- a88a2c_xoopscommentsテーブルを作成しました。
- a88a2c_xoopsnotificationsテーブルを作成しました。
- a88a2c_configテーブルを作成しました。
- a88a2c_configcategoryテーブルを作成しました。
- a88a2c_configoptionテーブルを作成しました。
- a88a2c_groupテーブルを作成しました。
- a88a2c_group_permissionテーブルを作成しました。
- a88a2c_groups_users_linkテーブルを作成しました。
- a88a2c_imageテーブルを作成しました。
- a88a2c_imagebodyテーブルを作成しました。
- a88a2c_imagecategoryテーブルを作成しました。
- a88a2c_imgsetテーブルを作成しました。
- a88a2c_imgset_tplset_linkテーブルを作成しました。
- a88a2c_imgsetimgテーブルを作成しました。
- a88a2c_modulesテーブルを作成しました。
- a88a2c_newblocksテーブルを作成しました。
- a88a2c_onlineテーブルを作成しました。
- a88a2c_priv_msgsテーブルを作成しました。
- a88a2c_ranksテーブルを作成しました。
- a88a2c_sessionテーブルを作成しました。
- a88a2c_smilesテーブルを作成しました。
- a88a2c_tplsetテーブルを作成しました。
- a88a2c_tplfileテーブルを作成しました。
- a88a2c_tplsourceテーブルを作成しました。
- a88a2c_usersテーブルを作成しました。

データベーステーブルが作成されました。

サイト管理者についての設定 >>


(20) XOOPS の際と管理者情報をお客さまの任意で設定し、「次へ」をクリックします。


XOOPS Cube Installation

画面上の指示に従って設定を行ってください

データの生成 >> [次へ](#)

Let's Start !!



サイト管理者についての設定

サイト管理者のユーザ名、ユーザパスワード、およびメールアドレスを入力してください。

管理者ユーザ名

管理者メールアドレス

管理者パスワード

管理者パスワード(再入力)

データの生成 >> [次へ](#)

(21) データの生成が行なわれます。「次へ」をクリックします。


XOOPS Cube Installation

画面上の指示に従って設定を行ってください

完了 >> [次へ](#)

Let's Start !!



データの生成

- 1個のデータがデータベースa88a2c_bannerclientにインサートされました。
- 4個のデータがデータベースa88a2c_configcategoryにインサートされました。
- 17個のデータがデータベースa88a2c_configoptionにインサートされました。
- 1個のデータがデータベースa88a2c_imgsetにインサートされました。
- 1個のデータがデータベースa88a2c_imgset_tplset_linkにインサートされました。
- 7個のデータがデータベースa88a2c_rankslにインサートされました。
- 17個のデータがデータベースa88a2c_smileslにインサートされました。
- 3個のデータがデータベースa88a2c_groupslにインサートされました。
- 1個のデータがデータベースa88a2c_bannerにインサートされました。
- 1個のデータがデータベースa88a2c_tplsetにインサートされました。
- 44個のデータがデータベースa88a2c_configにインサートされました。
- 1個のデータがデータベースa88a2c_userslにインサートされました。
- 2個のデータがデータベースa88a2c_groups_users_linkにインサートされました。
- 定数XOOPS_GROUP_ADMINが1に設定されました。
- 定数XOOPS_GROUP_USERSが2に設定されました。
- 定数XOOPS_GROUP_ANONYMOUSが3に設定されました。

完了 >> [次へ](#)

(22) インストールの第 1 ステップが終了し、インストールの第 2 ステップについて表示されます。確認し、「次へ」をクリックします。



XOOPS Cube Installation 画面上の指示に従って設定を行ってください

インストール第2ステップ >> 次へ

インストール第1ステップ完了

インストールの第2ステップについて

XOOPS Cubeのインストールの第1ステップが完了しました。XOOPS Cubeの必須モジュールの導入を完了するためには、第2ステップを実行する必要があります。

「次へ」をクリックして、表示されるログイン画面に第1ステップで設定した管理者のユーザIDでログインして下さい。

ログインに成功すると、導入可能なモジュールの一覧が表示されます。一覧を確認し、選択導入可能なモジュールが存在する場合には、インストールするモジュールにチェックを行った後に「インストール」ボタンをクリックして下さい。

選択されたモジュールが自動的に導入された後に、XOOPS Cubeのサイトに管理者権限でログインした状態のトップ画面が表示されます

XOOPS Cubeの使い方について


[未記述]

サポート

[XOOPS Cube Project](#)サイト(英語)か、[XOOPS Cube日本語サイト](#)に訪問ください。

インストール第2ステップ >> 次へ

(23) 管理画面にログインできます。サイト管理者を設定したユーザ名、パスワードにてログインした後、お客さまの環境に合うよう設定できます。



XOOPS Cube
SIMPLE · SECURE · SCALABLE

このサイトはただいまメンテナンスです。後程お越しください。

ログイン

ユーザ名:

パスワード:

XOOPS Cube Site

※ご注意

XOOPS の機能や管理画面の操作方法は、サポート対象外となります。
詳細については、書籍またはインターネット等をご活用ください。